



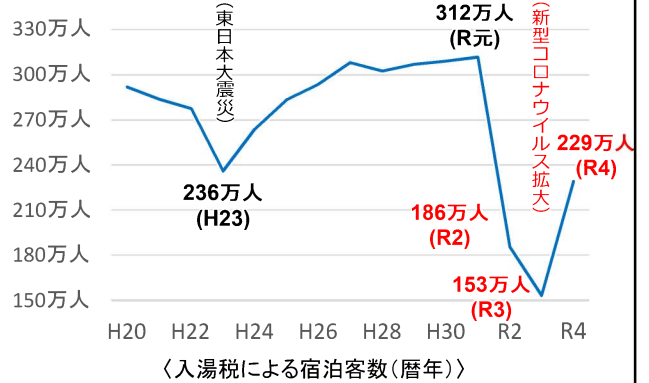
熱海市の現状

伊豆山土石流災害からの復興に向けての主な取り組み

令和3年7月	土石流発生 災害対策本部設置	令和4年5月	伊豆山地区復興まちづくり・逢初川沿いの道路計画に関する説明会
8月	災害対策基本法第63条に基づく警戒区域の設定		第1回伊豆山復興まちづくりワークショップ(全5回 9月終了)
9月	災害対策本部廃止 伊豆山復興推進本部設置	6月	「伊豆山復興基本計画」策定・公表
10月	伊豆山ささえ逢いセンター開設 逢初川の復旧の方向性に関する説明会 警戒区域内への一時的(臨時的)立ち入り開始	8月	警戒区域解除スケジュールと生活再建支援策についての説明会
令和4年2月	第1回伊豆山復興計画検討委員会(全7回 8月終了)	9月	「伊豆山復興まちづくり計画」策定・公表
3月	逢初川河川計画と市道計画に関する説明会	令和5年2月	源頭部不安定土砂の撤去開始
		3月	新設砂防堰堤の完成
		4月	市役所内に「復興調整室」、 「被災者支援室」を設置

宿泊客数

コロナ禍により過去最低に落ち込んでいた宿泊客数がコロナ禍前の7割ほどまで回復



伊豆山土石流災害からの復旧・復興

被災者生活再建支援策の実施



災害救助法による支援終了後も、恒久住宅での生活再建へ進んでいただける状況になるまでの間、現在の住居支援を継続します。また、引越しに係る費用の支援も行います。さらに、警戒区域内において自己所有の自宅へ戻られる場合の上乗せ支援及び新築、購入又は補修のために融資を受けた際の利子の一部助成を行います。

生活再建までの住居支援
引越しに係る費用の支援
引越しに係る費用の上乗せ支援
住宅再建の借入れに係る利子助成支援

被災者見守り・相談支援



今後、警戒区域の解除により被災者の皆様の生活再建が現実的となってくる中、被災者の皆様に寄り添った支援を引き続き行っていきます。

伊豆山ささえ逢いセンター経費

復興まちづくり計画の実行、逢初川沿い市道再整備



避難生活を余儀なくされている皆様が、一日でも早く生活再建ができるよう、地域における安全対策、道路やライフラインの整備などを進めています。
逢初川流域の復旧・復興に向けて、逢初川沿い市道の再整備を、県が進める逢初川改修事業と連携しながら実施し、被災地の中核となる道路整備を進めています。

復興推進事業費
逢初川沿い市道再整備に伴う経費

コロナ禍及び物価高騰における対策

コロナ禍・物価高騰からの経済再生



コロナ禍前の水準に向けた宿泊客数の回復と旅行消費額の増加を目指し、市内への経済波及効果を高めるための施策を進めています。

ビジネス利用促進による
新たな市場の開拓

熱海2030ビジョンの実現に向けた重点施策

観光・経済の活性化



多くの観光客が訪れ散策を楽しめる中心的エリアのため、年間を通して更なる昼夜の賑わい創出の契機となるよう修景整備を行い、魅力の向上を図ります。

糸川及び初川遊歩道街路修景整備事業

教育・福祉の充実



今年度から「重層的支援体制整備事業」がスタートします。子ども・障がい・高齢・生活困窮など分野毎の支援では対応しきれないような複雑化・複合化したニーズに対応する包括的な支援体制を構築していきます。

重層的支援体制整備事業経費

仕事・くらしの変革



2050年ゼロカーボンシティの実現に向け、市民の脱炭素型ライフスタイルへの転換を図るべく、新たな補助制度を創設し、二酸化炭素排出量削減に向けた取組を推進していきます。

ゼロカーボンシティの実現

熱海市 令和5年度予算・施策の概要

★伊豆山土石流災害からの本格的な復旧・復興とコロナ禍等からの力強い経済再生

一般会計予算案 202億4,100万円 (対前年度比5.87億円3.0%増)	(歳入) 市税 94.0億円(対前年度比4.7%増)、地方交付税 14.9億円(同23.1%増)、寄附金 5.0億円(同32.2%増) ※ 市税収入(対前年度比): 市民税(個人・法人) 1.7億円増、固・都税 1.6億円増、入湯税 0.8億円増 (歳出) 人件費 40.1億円(対前年度比2.3%減)、扶助費 32.8億円(同0.6%増)、公債費 16.8億円(同3.5%増) 普通建設事業費 22.6億円(同47.9%増)、補助費等 18.6億円(同16.7%増)、維持補修費 1.9億円(同17.7%減)
--	--

① 伊豆山土石流災害からの復旧・復興	② コロナ禍及び物価高騰における対策
<ul style="list-style-type: none"> ➤ 被災者生活再建支援策の実施 <ul style="list-style-type: none"> ・生活再建までの住居支援 (32,710千円) ・引越しに係る費用の支援 (33,000千円) ・引越しに係る費用の上乗せ支援 (26,000千円) ・住宅再建のための借入れに係る利子助成支援 (4,172千円) ・家屋の解体支援 (40,000千円) ➤ 被災者見守り・相談支援 <ul style="list-style-type: none"> ・伊豆山ささえ逢いセンター経費 (6,876千円) 	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 新型コロナウイルス予防対策 <ul style="list-style-type: none"> ・ワクチン接種経費 (94,169千円) ➤ コロナ禍・物価高騰からの経済再生 <ul style="list-style-type: none"> ・花火大会追加開催運営補助金 (10,000千円) ・ビジネス利用促進による新たな市場の開拓 (ワーケーション環境整備 20,000千円) (観光地高付加価値化事業 20,000千円) ・小中学校等給食食材料費負担軽減経費 (7,096千円)
<ul style="list-style-type: none"> ➤ 復興まちづくり計画の実行 <ul style="list-style-type: none"> ・復興推進事業費 (485,662千円) ➤ 逢初川沿い市道再整備 <ul style="list-style-type: none"> ・逢初川沿い市道再整備に伴う経費 (332,263千円) ➤ 災害廃棄物の処理 <ul style="list-style-type: none"> ・災害廃棄物撤去等業務(市単独公費解体業務委託) (29,988千円) ➤ 災害派遣職員の確保 <ul style="list-style-type: none"> ・災害派遣職員に係る経費 (59,849千円) ➤ 組織体制の強化と再発防止への取り組み <ul style="list-style-type: none"> ・復興本格化に向けた体制改編 ・職員研修の強化 ・不正盛土対策(監視カメラ等) (12,173千円) ・土地利用対策技術相談業務委託 (1,242千円) 	<h3>③ 熱海 2030 ビジョンの実現に向けた重点施策</h3> <ul style="list-style-type: none"> ➤ 観光・経済の活性化 <ul style="list-style-type: none"> ・熱海型DMOの構築、観光財源の確保に向けた検討 (3,000千円) ・糸川及び初川遊歩道街路修景整備事業 (83,683千円) ➤ 教育・福祉の充実 <ul style="list-style-type: none"> ・重層的支援体制整備事業経費 (124,877千円) ・小中一貫教育先進地視察経費 (215千円) ➤ 仕事・くらしの変革 <ul style="list-style-type: none"> ・地域づくり交付金、地域コミュニティ活動推進事業経費 (7,500千円) ・ゼロカーボンシティの実現 (ZEH等推進事業 3,500千円) (次世代自動車導入事業 2,500千円) (庁舎等LED化 49,816千円) ・旧網代小学校施設利活用に係る経費 (333,384千円)